

## (臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] ERCP における看護師の放射線被ばく量の低減を目指して

[研究責任者]

長崎医療センター 治療検査センター内視鏡センター 看護師 原田 由佳

[研究の背景]

内視鏡検査において透視を使用する検査は数多くあり、医師のみならず検査介助に携わる看護師の被ばくも問題となっています。特に当院において ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）の症例数は多くあり、また手技が複雑であるため検査時間が長く、医療従事者の被ばく量の増加に繋がっていると考えられています。この度、放射線部において、廃棄予定のプロテクターを再利用した放射線防護具が作成されました。模型を用いた実験にて、空間線量率が低減し医療従事者の被ばく低減に有効であることが証明されています。そこで、今回放射線防護具の設置箇所を見直すことや、廃棄予定のプロテクターを再利用した放射線防護具を使用することが、ERCP の介助につく看護師の被ばく量の低減に有効であるのかを明らかにすることを目的としこれまでの被ばく量と放射線防護具使用後の被ばく量に変化があるかを比較するため本研究を計画しました。

[研究の目的]

放射線防護具の設置箇所を見直すことや、廃棄予定のプロテクターを再利用した放射線防護具を使用することが、ERCP の介助につく看護師の被ばく量の低減に有効であるのかを明らかにすることを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2023 年 11 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターにて ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）の治療（検査）を受けた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2024 年 6 月 30 日

●利用するカルテ情報 身長・体重 検査時間、検査中の透視時間、放射線量

●検体や情報の管理

カルテ情報は長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

## [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

## [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

研究代表者 原田 由佳 長崎医療センター 治療検査センター（内視鏡室）

TEL 0957-52-3121（代） 内線 3262